

## 公益事業・地域貢献活動

### ■ 奈良市アダプトプログラム推進事業「さわやかクリーン奈良」



アースカローズぷろぼの新大宮では、奈良市が管轄する花壇の管理、クリーン活動を行っています。花の植え替えだけでなく、毎月除草などの手入れや歩道の清掃活動に取り組んでいます。

### ■ 生駒市「第12回花と緑の景観まちづくりコンテスト」



生駒事業所では生駒市の委託を受け花壇の手入れを行っています。毎年参加している「花と緑の景観まちづくりコンテスト」にて、令和2年度はまちづくり賞を受賞いたしました。

### ■ 子ども食堂



夏休みなどの長期休暇に、ぷろぼの食堂にて子ども食堂と子ども喫茶を実施しました。子ども食堂の実施にあたっては、助成金のほかご厚意でいただいた寄付や食材を活用させていただきました。

## 主な講演活動

### 就労支援フォーラムNIPPON 2020 (2020/12/12)

就労支援のアセスメントの重要性、支援の質をテーマとするパネルディスカッションにおいて、理事長山内がパネリストとして登壇いたしました。

### 島根県 令和2年度A型事業所経営安定化研修 (2020/3/6)

就労継続支援A型事業所の安定した事業運営について、理事長 山内が講演させて頂きました。

## 法人主催講演等

### 19歳の障害年金講座 (2020/7/4)

社会保険労務士 前田佳代先生をお招きし、障害年金の仕組みと申請の手続きについての講演会を実施しました。

### 発達障がいのある大学生・短大生等のための就職準備セミナー (2020/8/27、2021/1/16、3/3)

奈良県発達障害者支援センターでいあ様との共催で、奈良県内の大学・短大等に通う学生向けに講座や職場実習を実施しました。

### 第1回：ビジネスマナーと会社見学 (第一生命チャレンジ様)

### 第2回：インターンシップ (随時)

### 第3回：回就職準備講座 (障害者雇用の現状や就職活動のポイントについて、自己分析、履歴書作成のポイント)

### 放課後等デイサービス、地域活動支援センター共催

### ぷろぼのカルチャークラブ

緊急事態宣言が解除された6月以降、月1回のペースでパソコンクラブ、ジムクラブを開催しました。パソコンクラブでは事業所で検定練習・タイピング練習を、ジムクラブでは公民館にて月1回1時間程度トレーナーによる筋力トレーニングを実施しています。

## メディア掲載

### ■「月刊誌WAM」2020年6月号

地域福祉の拠点としてのぷろぼの福祉ビルにおける取り組みについて掲載されました。

### ■「看護研究」第53巻5号

新潟青陵大学福祉心理学部 海老田大五朗准教授の執筆内容において、新型コロナウイルス感染症流行下での3Rマテリアルセンターにおけるテレワーク・アパターワークの取り組みについて掲載されました。

### ■「伊賀タウン情報ユー」Vol.785

津事業所・3Rマテリアルセンターが取り組む三重県のアパターワーク事業について、取り組み内容や参加した利用者のインタビューなどが掲載されました。

### ■「毎日新聞」奈良版および東京版 (2020/6/5)

新型コロナウイルス感染症流行下での3Rマテリアルセンターにおけるテレワーク・アパターワークの取り組みについて掲載されました。

### ■「毎日新聞」奈良版 (2020/7/1)

新型コロナウイルス感染症流行下での障がい者の多様な働き方、テレワークの取り組み、理事長 山内の思いなどが掲載されました。

### ■「毎日新聞」奈良版 (2020/12/15)

CLT工法を用いたぷろぼの福祉ビル、理事長山内の思いなどが掲載されました。

### ■関西テレビ放送「報道ランナー」(2020/10/14)

新型コロナウイルス流行下での3Rマテリアルセンターにおけるテレワーク・アパターワークの取り組み、テレワーク支援センターコベルでの取り組みなどが放送されました。

### ■奈良テレビ放送「ゆうドキッ!」(2020/11/5)

奈良市立富雄中学校にゲストティーチャーとして3Rマテリアルセンターのスタッフ・利用者が招かれた様子が放送されました。

# 働きたい!を 実現する

## 令和2年度 活動報告書 社会福祉法人ぷろぼの

## 見らくしよし「ぷろぼの」

日頃は私どもの「福祉」活動にご理解とご協力をいただき感謝いたします。古都奈良は「福祉」の発祥の地であり、近年は大阪や京都の郊外地として歴史文化と共に、子育てに最適な地域になっています。

ぷろぼのは2021年に創業16年を迎えます。時代の要望に応じて、障がい者の新しい働き方を創造するために、ITやICT、アバター就労など先端的な福祉支援に取り組んできました。令和2年度の新着者数は42名となり、社会人スキルや職業技術の向上と共に就職後の定着支援を充実させています。新型コロナウイルスでStay Homeになりましたが、テレワーク支援センター

を開設して、通勤が困難な方や希望する企業に就職したい方に細やかな支援をすることで、7名が東京等の企業にテレワークで就職されました。

わたしたちは社会福祉法人として地域の社会福祉の拡充に取り組んでいます。ご興味のある方は、ぜひ「ぷろぼの」にお立ち寄りください。～見らくしよし～の気持ちでお待ちしています。

「ぷろぼの」とは公共善、いい社会をつくろう、の意味です。



就職準備は学生の早い段階から

## 放課後等 デイサービス



令和元年度利用者数:のべ **900名** 月平均 **70名**

「楽しく社会人スキルを学ぶ」をテーマにキャリア教育支援を実施しています。

令和2年度は感染症対応や学校の休校対応のため、開所時間の変更、延長、オンラインによるプログラム実施などを行いました。学校再開後も感染症対策を講じ、事業所内のできる通常プログラムやイベントを工夫して行いました。近隣を散歩する「歩く会」や体育館を貸切で実施する「スポーツイベント」の他、万華鏡等のクラフト作り、LINEスタンプや動画作成、プログラミング体験なども盛況でした。また、通常プログラムではWordやExcelの検定に取り組み、全事業所でのべ25名の合格者を出すことができました。これからも、運動、ソーシャル、創作、ITという基本プログラムに取り組みながら、利用者の皆さんが夢中になれる活動やイベントを実施し、将来に向けた準備を整えていきます。

就職準備性を高める為に

## 自立訓練 (生活訓練)



令和元年度利用者数:のべ **500名** 月平均 **42名**

いろいろな経験を増やし、社会性や自己肯定感を身に付け、働き続けるために安定して生活できるようになることを目指した訓練を実施しています。

令和2年度の新利用者は19名、ぶろぼのが提案する次のステップである就労移行支援に移られた方は14名でした。就労移行支援の利用イメージを作り就職に向けての課題を確認するため、就労移行支援事業所での実習にも取り組みました。緊急事態宣言時はパソコンを中心に在宅訓練を実施しました。

新型コロナウイルス感染症流行下でも余暇を大切にしたいとの思いから、新たなイベントにも取り組みました。普段取り組んでいるプログラミングの成果発表会、筋トレ部・美術部の発足など、活動を通じて利用者同士の会話が増えました。褒め合い励まし合うという場面もあり、それが自信に繋がっている方もいらっしゃいます。今後も一人ひとりの思いを大切にしながら取り組みを継続していきます。

働きたいという思いを実現するために

## 就労移行支援



令和元年度利用者数:のべ **1,260名** 月平均 **105名**

「働きたい」という思いを支えるため、「自己理解」「訓練・実習」「就職活動」の3つの要素から成り立つプログラムを提供しています。

令和2年度は令和元年度に開始したテレワーク訓練事業を発展させ、テレワーク就労に特化した訓練を行う「ぶろぼのテレワーク支援センターコペル」を開設しました。北和中南和の2か所でスタートし、令和2年3月末時点の利用者は19名となっています。

新型コロナウイルス感染症対策として、訓練時間の短縮、午前午後の人員の入れ替え、事業所内の換気・消毒などを行い、安心して訓練に取り組める環境を整えました。さらにオンラインツールを訓練全般に取り入れ、通常の在宅訓練のほか通所利用者とのグループワークやWeb面接の練習にも活用しました。オンラインイベント「就職支援セミナー」や「忘年会」「新年会」も盛況でした。今後もテレワーク就労のさらなる発展に取り組んでまいります。

多様な働き方ができるように

## 就労継続支援 (A型・B型)



令和元年度 A型登録者数: **32名** 月平均給与 **13万円**  
B型登録者数: **47名** 月平均工賃 **2.4万円**

障がいがあっても配慮を受けながら働き、仕事を通して成長していける職場づくりを行っています。

令和2年度はテレワーク体制を構築し、スタッフの働き方の幅が広がりました。新型コロナウイルス感染症の影響で中古PCやWeb案件の需要が拡大、感染症に影響されない農福連携業務を維持しました。さらに、よもぎ製品を取り扱うYahoo!ショッピング店を新たに開設いたしました。また、あたく組組合経由でのnara temono(ならてもの)Yahoo!ショッピング店の構築、奈良市福祉計画策定など共同受注窓口業務が拡大しました。

これまでの取り組みを評価いただき、全Aネット(就労継続支援A型事業所全国協議会)の優良事業所に認定されました。これを励みに、障がいのある方の働く場づくり、仕事づくりのため、より一層精進してまいります。

就職後の定着を図るために

## 就労定着支援



令和元年度登録者数: **61名**

就労定着支援事業開始から3年目を迎え、新たに榛原事業所・津事業所でも事業をスタートさせました。就職者数に比例して登録者数は過去最多となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響で職場訪問の機会は減ったものの、オンラインツールの利用や事業所へお越しいただくことにより、定期的な面談を継続できました。この1年間の職場定着率は9割以上と高い水準を維持しています。

就職された後も長く働き続けることができるよう、今後も企業様と連携して切れ目のない支援を行います。

## アバターワーク

重度の障がいをお持ちの方や様々な理由で外出が困難な方は、就職や企業実習などの機会が少なく、就労が進みにくい状況にあります。ぶろぼのでは人型ロボットPepperを活用し、新しい働き方「アバター就労」に取り組み、福祉団体や企業に働きかけてきました。

令和2年度は、三重県ディーセント・ワーク推進委託事業・三重県テレワーク導入促進委託事業において、Pepper・OriHimeを使用した計8件のアバター就労体験を実施しました。各企業の要望に応じた仕事を設け、テレワーク就労を希望される方や特別支援学校の重度障がいの学生が職場体験に参加されました。自宅や福祉施設からPepperを遠隔操縦し、接客や導線誘導、おすすめ商品の告知や予約受付などを体験していただきました。

また、大阪ガス本社ビル1Fカフェにて行われている福祉施設の授産品販売の場で、Pepperの遠隔操縦による呼び込み作業を行い、各団体の売上向上に貢献しています。この事業は、CSR活動に取り組まれている大阪ガス様・ソフトバンク様 他、数社にご協力頂き実現しています。

※Pepperはソフトバンクロボティクス(株)の商標です。

※社会福祉法人ぶろぼのはPepper 社会貢献プログラムに参加しています。

※ソフトバンクロボティクス(株)の人型ロボット「Pepper」を活用し、本事業で独自に実施しています。



## 令和2年度 就職者数 **42名** うちテレワーク **7名**

### 《 主な就職先 敬称略 》

奈良県庁・大阪府教育庁・関西国際学園・第一生命チャレンジ株式会社・パーソルチャレンジ株式会社・コクヨKハート株式会社・パナソニックLSエンジニアリング株式会社・株式会社ヤマダホームズ・株式会社呉竹・株式会社テクノプロ・スマイル